※注意点※ スター製OCXドライバーは使用出来ませんので、 新OCX Ver2.00を使用する必要があります。

【新OCXドライバー(Ver2.00)のインストール手順】

フォルダ内の『Install.bat』よりインストールを実施してください。

【IPアドレスの初期設定について】

工場出荷時のIPアドレスは『192.168.0.2』です。 192.168.1.*** など、ご利用いたただくネットワーク環境のセグメントが異なる場合は、 設定ツール『DeviceInstaller』をご利用ください。 ※IPアドレスを初期化する方法はありません。

DeviceInstaller ダウンロードサイト <u>https://www.lantronix.com/products/deviceinstaller/</u> ※英語サイトのため翻訳機能をご利用をお勧め致します。



tech_supportが所有 *** 最終更新日: 2021 年 10 月 27 日、作成者: Kevin Page ・ 2 分で読めます ・ レガシーエディタ

DeviceInstallerの最新バージョンは何ですか?

DeviceInstaller の現在のバージョンは4.4.0.7です。以下の表の FTP または HTTP リンクをクリックして、セットアップアプリケーションとリリース ノートをダウンロードします。

製品		1<×L
Windows 用 Web セットアップ アプリケーション (1.3 MB)	· ZIP アーカイブ	インストールするにはインターネットアクセスが必要です
リリースノート	(A)	
(要件は下記を参照してください)		

※ダウンロードファイル:DeviceInstaller-4407-Web.zip

互換機の電源を入れ、 C:¥Program Files¥Lantronix¥DeviceInstaller4.4 内の『DeviceInstaller.exe』を起動してください。

下記画面が表示されますので、『OK』を選択してください。

	タイプ	名前	グループ	IPアドレス	ハードウェアアドレス	ステータス	 _
Application Startup	Warnings					×	
Serial Ports							
	WAR	NING: No serial p	orts were found o	n this PC!	not		
~	C De settar p			server over a seria			
	U Do not pro	mpt me about this.	(Can enable this	s again trom tools	=>Options)		
			ОК				
<u> </u>							

自動的に検索がかかり、デバイスが見つかると下記内容が表示されます。

記 Lantronix デバイスインストーラー 4.4.0.7 ファイル エディット 表示 デバイス	ツール ヘルプ					<u></u>	×
🔎 検索 🛛 🔘 Options 🤤 無効にするデバイ	ス 📚 IP割当						
Entronix Devices - 1 device(s)	9-17 ₩XPort-05	名前	グループ	IPアドレス 192.168.0.2	//ードウェアアドレス 00-80-A3-DA-D5	25-92 無応答	
ดิปรัก-							

上記表記にならない場合(No Devices Were Found!の表記の場合)は、 Windowsファイアーウォールの設定を無効化してからお試しください。

(コントロールパネル>Windows Defender ファイアウォール>

```
左側メニューの『Windows Defender ファイアウォールの有効化または無効化』を選択>
```

『Windows Defender ファイアウォールを無効にする(推奨されません)』にチェック)

🏣 コントロール パネルヽすべてのコントロール	, パネル項目\Windows Defender ファイアウォール		12	×
$\leftrightarrow \rightarrow \checkmark \uparrow $	ロール バネル ゝ すべてのコントロール バネル項目 ゝ Windo	ows Defender ファイアウォール ~ C		Q
コントロール パネル ホーム	Windows Defender ファイアウォールによる I	PCの保護		
Windows Defender ファイアウォー ルを介したアプリまたは機能を許可	Windows Defender ファイアウオールによって、ハッカーまた したアクセスを防止できるようになります。	は感意のみるソフトウエアによる1 ングーイツトまたはイツトワークを経田		
🐤 通知設定の変更	ファイアウォール設定の更新			
Windows Defender ファイアウォー ルの有効化または無効化	Windows Defender ファイアウォールではコンピュータ 保護するための推奨設定が使用されていません。	7-を 🍫 推奨設定を使用します		
😔 既定値に戻す	推奨設定の詳細			
💡 詳細設定				
ネットワークのトラブルシューティング	😵 プライベート ネットワーク(R)	接続されていません ~		
	🛛 🦁 ゲストまたはパブリック ネットワーク(I	p) 接続済み ^		
	空港、喫茶店など、公共の場のネットワーク			
	Windows Defender ファイアウォールの状態:	無効		
	着信接続:	許可されたアプリの一覧にないアプリへのすべての接続をプロ ックする		
	アクティブなパブリック ネットワーク:			
	通知の状態:	Windows Defender ファイアウォールが新しいアプリをブロック したときに通知を受け取る		
関連項目				
セキュリティとメンテナンス				
ネットワークと共有センター				

XPort-05 を選択し、『IP割当』を選択してください。

名前 グループ IPアドレス ハードウェアアドレス ステータス 192,168.0.2 00-80-A3-DA-D5 無応答	Lantronix Devices - 1 dev ∰ Wi-Fi (192.168.1.128) ⊕ 🛅 XPort	vice(s) タイプ エンアort-05	名前	グループ	IPアドレス 192.168.0.2	ハードウェアアドレス 00-80-A3-DA-D5	ステータス 無応答	
192.168.0.2 00-80-A3-DA-D5 無応答	ggg wi=rr(192.100.1.120) ⊕- 🔁 XPort	XPort-05			192.168.0.2	00-80-A3-DA-D5	無応答	

下記割当画面が表示されますので、『特定IPアドレスの割当』を選択し、『次へ』を選択してください。

🔍 I P アドレスの割当	×
	割当方法
	IPアドレスを指定しますか? またはネットワークからIPアドレスを取得します か?
1000	○ ℙアドレスの自動取得
MAR	●特定ℙアドレスの割当
	ТСР∕₽Э⊥−НЈЛル
•	
	<戻る 次へ> キャンセル

ご利用のネットワーク環境内と同じセグメントのIPアドレスを入力し、『次へ』を選択してください。 ※この時点ではサブネットマスクとデフォルトゲートウェイの設定は出来ません。 後述のwebブラウザからのログインで設定が可能です。



『割当』→を選択いただくことで設定した値に変更されます。 タスクが完了次第『終了』を選択してください。



デバイスイントーラーの表記が設定したIPアドレスの値になっていれば成功です。



【IPアドレスの固定手順】 *)同一セグメントの場合は、ここから

1.MOVE RewriteCard Control Ver2.00 フォルダ内の『**XPortDiscovery.exe**』を実行してください。

2.『検索する』ボタンをクリック後、IPアドレスとMACアドレスが表示されます。
 ※グレイアウト中は確認中のため黒い表示になってから『設定を開く』をクリックしてください。

IP Address	Mac Addaress	Device Server
192.168.1.240	00:80:a3:da:d5:2e	してい して 設定を開く

3.左側メニューの『Network』を選択し、『Use the following IP configuration』の欄に固定したいIPアドレスを入れ、 『OK』をクリックしてください。

XPo	
<u>규</u>	Network Settings
Network	
Server	Network Mode: Wired Only 🗸
Serial Tunnel	IP Configuration
Hostlist Channel 4	 Obtain IP address automatically
Serial Settings	Auto Configuration Methods
Connection	BOOTP: 🖲 Enable 🔘 Disable
Email	
Trigger 1	AutolP: Deckle O Disable
Trigger 2	Autor: S Enable Disable
Configurable Pins	DHCP Host Name:
Apply Settings	Use the following IP configuration:
	IF Address. [152.100.1.240
Apply Defaults	Subnet Mask: 255.255.255.0
	Default Gateway: 192.168.1.1
	DNS Server: 0.0.0.0
	Ethernet Configuration Auto Negotiate Speed: 10 Mbps Duplex: Full Half OK

4.左側メニューの『Serial Settings』を選択し、Baud Rateの値が『9600』になっていることを確認してください。
 値が異なっている場合は、9600にしてOKボタンを押してください。
 ※互換機の内部的な仕様で通信速度9600以外は動作しません。

₩	Serial	Settings
Network	Channel 1	
Server	Disable Serial Port	
enal lunnel Hostlist	Port Settings	
Channel 1	Protocol: RS232	Flow Control: None
Serial Settings	Paud Pate: 9600 V Data Pite: 8 V	Parity: None y Ston Pite: 1 y
Email	Data Dits. 0 •	
Trigger 1	Pack Control	
Trigger 2		
Configurable Pins		
Apply Settings	Idle Gap Time: 12 msec 🗸	
	Match 2 Byte Sequence: O Yes ONO	Send Frame Immediate: 🔘 Yes 🖲 No
	Match Bytes: 0x 00 0x 00	Send Trailing Bytes: None O One O Two
Apply Defaults	(Hex)	
	Flush Mode	
	Flush Input Buffer	Flush Output Buffer
	With Active Connect: O Yes O No	With Active Connect: O Yes ONO
	With Passive Connect: O Yes O No	With Passive Connect: O Yes 💿 No
	At Time of Disconnect: O Yes O No	At Time of Disconnect: O Yes 🖲 No

5.左側メニューの『Apply Settings』を選択すると自動的に更新が走ります。

数秒後に設定後の値が表示されます。

XPo	ort	LANTRONIX
&		Device Status
Network		
Server		
Serial Tunnel Hostlist Channel 1	Product Information	
Serial Settings	Firmware Version:	V6.10.0.3
Connection	Build Date:	29-Dec-2017
mail Trigger 1	Network Settings	
Trigger 1	MAC Address:	00-80-A3-DA-D5-2E
Trigger 3	Network Mode:	Wired
Configurable Pins	DHCP HostName:	< None >
Apply Settings	IP Address:	192.168.1.240
	Default Gateway:	192.168.1.1
	DNS Server:	0.0.0.0
Apply Defaults	MTU:	1400
	Line settings	
	Line 1:	RS232, 9600, 8, None, 1, None.

6.動作テスト

MOVE RewriteCard Control Ver2.00 フォルダ内の『MFCSample.exe』を実行してください。 設定したIPアドレスの値を入力し、『リセット』をクリックして互換機が動作すれば通信確認完了です。

A MFCSample	_		\times
(•) 132 . 168 . 1 . 240		読み込み	
		書き込み	
株式会社 ムーブ 〒422-8067 海岡市駿河区南町11-1 静岡銀行ビル6階			
TEL:054-288-6111 FAX:054-288-3463	-	印字	
排出 「リセット」			

印字をしたい場合は『印字』ボタンを押してカード挿入すれば印字されます。 ※時期書き込みの場合、カードは自動排出されませんので『排出』を選択してください。

まだ動作NGの場合は、以下もご確認ください。

XPortから

- 1. Conenectionから、ポート番号を10001番以外に設定(適用)
- 2. Apply Defaultsを実施(適用)
- 3. Connectionから、ConnectProtocolがTCPサーバーモードであるか? 違うならTCPサーバーモードに変更
- 4. ポート番号を確認し10001番であるか? 違うなら10001番に変更
- 5. ApplyDefoultsを実施(適用)